

平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月7日

上場取引所 大

上場会社名 シンポ株式会社

コード番号 5903 URL <http://www.shinpo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 利明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 水野 泰彦

TEL 052-776-2231

四半期報告書提出予定日 平成24年5月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	1,955	—	131	—	133	—	59	—
23年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 42百万円 (—%) 23年6月期第3四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	10.53	—
23年6月期第3四半期	—	—

(注) 平成24年6月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年6月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	—	%
24年6月期第3四半期	3,178	—	2,341	—	—	73.7
23年6月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 2,341百万円 23年6月期 1百万円

(注) 平成24年6月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年6月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年6月期	—	0.00	—	7.00	円 銭	7.00
24年6月期	—	0.00	—	—	円 銭	—
24年6月期(予想)	—	—	—	7.00	円 銭	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	—	214	—	218	—	99	—	17.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年6月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期の増減率については記載しておりません。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 神府貿易(上海)有限公司、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期3Q	6,140,850 株	23年6月期	6,140,850 株
② 期末自己株式数	24年6月期3Q	480,748 株	23年6月期	480,676 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期3Q	5,660,116 株	23年6月期3Q	5,660,177 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や福島原発事故の影響により依然として厳しい状況にある中で、緩やかに持ち直しがみられるものの、円高の影響や株価の低迷、欧州の債務危機を背景とした世界経済の減速懸念などの要因により、先行きは不透明な状況となっております。

当社の主要マーケットである焼肉業界につきましては、長引く景気低迷から消費者の節約志向が恒常化し、外食離れが止まらないうえ、業界内の価格競争もより激化し、非常に厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下で、当社は、1月に東京、2月に大阪で開催された展示会「焼肉ビジネスフェア」において、お客様のランニングコスト削減とロースターの安全性の向上を図るために、高性能グリスフィルタとして新しく「3Dフィルタ」を発表し、販売を開始しました。また、1月16日から2月29日まで「焼肉業界復活応援キャンペーン」として、消耗部材品の半額キャンペーンも併せて実施しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,955百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は131百万円、経常利益は133百万円、四半期純利益は59百万円となりました。

当社グループは、無煙ロースターの製造販売及びその附帯工事を内容とした事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

なお、第42期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との対比は行っておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,178百万円となりました。このうち、流動資産は1,591百万円となり、主な内訳は、現金及び預金1,005百万円、受取手形及び売掛金360百万円であります。また、固定資産は1,586百万円となり、主な内訳は、土地461百万円、投資有価証券670百万円であります。

負債合計は837百万円となりました。このうち、流動負債は752百万円となり、主な内訳は、短期借入金400百万円であります。また、固定負債は84百万円となりました。

純資産は2,341百万円となり、主な内訳は、利益剰余金1,341百万円であります。

なお、第42期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期末との対比は行っておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月3日付「連結決算開始に伴う平成24年6月期連結業績予想に関するお知らせ」で公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、神府貿易（上海）有限公司の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）第19号の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」（会計制度委員会報告第11号）第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
 (平成24年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,005,245
受取手形及び売掛金	360,013
商品及び製品	2,553
仕掛品	17,577
原材料及び貯蔵品	131,685
その他	76,063
貸倒引当金	△1,500
流動資産合計	1,591,638
固定資産	
有形固定資産	
土地	461,679
その他(純額)	193,339
有形固定資産合計	655,018
無形固定資産	3,397
投資その他の資産	
投資有価証券	670,087
その他	276,374
貸倒引当金	△18,165
投資その他の資産合計	928,296
固定資産合計	1,586,712
資産合計	3,178,350
負債の部	
流動負債	
買掛金	70,136
短期借入金	400,000
未払法人税等	73,481
引当金	35,600
その他	173,250
流動負債合計	752,468
固定負債	
役員退職慰労引当金	39,695
その他の引当金	8,793
その他	36,317
固定負債合計	84,805
負債合計	837,274

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成24年3月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	639,307
資本剰余金	595,887
利益剰余金	1,341,610
自己株式	△188,090
株主資本合計	2,388,714
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△48,100
為替換算調整勘定	462
その他の包括利益累計額合計	△47,638
純資産合計	2,341,076
負債純資産合計	3,178,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
売上高	1,955,726
売上原価	1,200,003
売上総利益	755,722
販売費及び一般管理費	624,677
営業利益	131,044
営業外収益	
受取利息	373
受取配当金	2,738
受取賃貸料	6,763
その他	368
営業外収益合計	10,242
営業外費用	
支払利息	2,764
不動産賃貸費用	3,168
その他	1,867
営業外費用合計	7,800
経常利益	133,487
特別損失	
固定資産除却損	2,765
投資有価証券売却損	1,140
特別損失合計	3,905
税金等調整前四半期純利益	129,581
法人税等	69,988
少数株主損益調整前四半期純利益	59,593
四半期純利益	59,593

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	59,593
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△17,649
為替換算調整勘定	462
その他の包括利益合計	△17,187
四半期包括利益	42,406
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	42,406
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。